

## 【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について】

この度は、皆様に大変なご心配とご心労をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

4月21日現在、新たな感染者の確認はなく、感染拡大防止を最大限に行い、ケアに努めております。

この度、シニアスタイル武庫之荘で感染が確認されたのは、変異型コロナウイルスです。このウイルスの恐ろしいところは、驚異的な感染力です。以前経験したコロナ感染とは格段に違います。

毎日、報道されております通り、想像以上に医療は逼迫しており、入院もできない状況でございます。コロナ感染者がいるということで、コロナ以外の病状で救急搬送ということがあったのですが、兵庫県内すべての病院で、受け入れの拒否が現実にございました。2回もの陰性確認が取れ、コロナ罹患者ではない旨、施設では完全隔離の実施をお伝えしても、受け入れていただける病院はありませんでした。それがどのようなことを指すのか・・・本当に恐怖と憤りを感じました。幸い、その方は往診の先生と各施設職員の懸命な看病により、元気を取り戻しつつあり、安堵しております。

テレビからは、感染防止を徹底すれば、会食や旅行も止める必要はないとの声が聞こえてきます。果たして、そのようなことは可能なのでしょうか。街に出れば、マスクをしていない人もいます。大勢の家族で買い物に来ている人もいます。消毒せずにお店に入る人、お酒を飲みながら大声で話している人もいます。みんな自分は大丈夫だと、どこかで高を括っているのが現状です。高齢者の方は、基礎疾患をお持ちの方がほとんどです。罹患してしまうと命の選択を迫られるのが、現実です。本当に辛く、腹立たしさすら覚えます。

我々、介護に携わる職員は、去年のコロナ感染拡大が始まったころから、私生活も含め自粛や我慢をし、生活をしてきました。友達と会食もしたかっただろうし、故郷へ帰郷もしたかったことでしょう。それもすべて我慢してくれていました。今回、会食を行った職員も例外ではありません。なので、それを責めるつもりもありません。現に、感染防止を行ったうえで、1対1の会食であったと聞いています。それでも感染してしまうのが変異株コロナウイルスです。

皆様におかれましても、大切な家族様に会いたいお気持ち、心配なお気持ちは十分に理解しています。しかしながら、今は少しでもリスクを減らし、入居者様に安心して生活していただくことが最優先だと思っています。何よりも命は大切です・・・

我々に対し、不平・不満など大いにあるかもしれませんが、職員は命掛けで職務に当たっております。介護職員も、みんな大切な家族があり、生活があります。それでも何とか守り抜こうと、みんな笑顔で今できる最大限のケアをさせていただいております。

現在、コロナウイルスに感染した方が入るホテルも満床で、症状があっても自宅待機となっております。このHPを目にされた皆様、コロナ感染を甘く見ることなく、自分は大丈夫と思うことなく、感染防止を徹底し、自分自身と、大切な方をお守りください。心よりお願い申し上げます。

株式会社シニアスタイル  
統括本部長 池野 直美